



10/4 歴史に思いをはせながら描く ～四中 賀庭寺写生大会～



▶賀庭寺や周田の石造物群と実際に触れ合いながら描きました

賀庭寺は平安時代の末頃に平清盛・重盛が建立したと伝えられており、中世の石造物群は県指定文化財、近世の石造物群と薬師堂に安置する仏像群は市指定文化財です。府本地区協議会賀庭寺部会長の田中明義さんを交え、四中の美術の授業の一環として、賀庭寺写生大会が実施されました。1年生約100人は、賀庭寺の歴史をつづった紙芝居を聞き、当時を想像しながら思い思いに描きました。後日、賀庭寺の清掃活動も行われ、郷土の歴史や文化財に対し、理解と親しみを深めました。

10/5・6 おいしいナシに心もピース ～デザート梨の日～



▶山下市長と給食を食べる八幡小4年生の子どもたち

デザート梨の日になみ、市特産のジャンボナシ「新高」が市内の小中学校の給食に登場しました。地元の特産物を通して食文化への理解と食育を推進しようと毎年実施しています。八幡小学校では、山下市長、永尾教育長らと子どもたちが給食を食べ、カットされたナシを口いっぱい頬張り、秋の味覚を堪能していました。4年生の友成あおい君は「初めて市長と給食を食べられて楽しかったし、ナシも甘くておいしかったです」と満足げな表情でした。

10/15・16 家族・友人と楽しむ読書の秋 ～図書館まつり2016～



▶どくしょクラブ「ボン！」表彰状授与式。記念品作りをしました

図書館まつり2016を、市立図書館と中央公民館で開催しました。朗読サークルあらおによる朗読鑑賞会、おはなし会、どくしょクラブ「ボン！」表彰状授与式、ぬいぐるみお泊りかんさつ記録会やお手紙コンサルタント・青木多香子さんのお手紙講座などが行われ、参加者は家族・友人と本に触れあうイベントを楽しみました。お手紙講座に参加した人は「最近では電話を使うことばかりでしたが、手紙を書いてみようと思いました」と話していました。

10/16 父と娘の愛の物語 ～創作ステージ「海達公子」～



▶「海達公子」をテーマに、少女たちが追真の演技を披露しました

市民みんなで作り上げる舞台を合言葉にして、平成21年度からスタートした「創作ステージ・ふるさと詩集」。今回は、生誕100年を迎えた夭折の天才少女詩人・海達公子を題材に開催されました。父・松一の生きざまを通して、演劇、映像や音楽などで「公子像」が描かれ、公子が若くして亡くなり松一が慟哭するクライマックスのシーンでは、観客席からすすり泣く声が聞こえ、父と娘の感動の愛の物語に約800人の観客から惜しめない拍手が送られました。

10/26 平和への願いを込めて ～戦没者追悼式～



▶「ふるさと」の合唱が、会場内を優しく包み込みました

戦没者追悼式を文化センターで行いました。130人ほどの遺族が参列し、市出身の戦争犠牲者1,620人を悼みました。市遺族連合会会長の崎坂純昭さんは「命を落とされた御英霊の事を思うと痛恨の極みです。世界の各地で戦争は今も起こっています。平和になってくれることを望みます」と式辞を述べました。式後半には、空襲体験者の手記なども紹介され、玉名法人会女性部会コーラス隊が「ふるさと」を合唱。最後は出席者らが祭壇に献花をしました。

10/28～30 万田坑を照らす幻想の光 ～万田坑D-Kライブ～



▶観客たちは、万田坑の美しさとトランペットの音色に酔いしれました

万田坑でD-Kライブを開催しました。D-K（デジタル掛け軸）は世界的なデジタルアーティストの長谷川章さんが考案したアートで、さまざまに変化していく色彩豊かな画像を建造物などに投影していくものです。30日にはトランペット奏者の近藤等則さんの演奏も披露されました。西原町の中川さん夫妻は「万田坑がこんなに幻想的なアートになるとは驚きです。多くの人に知ってもらいたいので、岩手の釜石市にいる友人たちにも写真を送りました」と笑顔を見せました。

100歳 おめでとうございます

10月10日に酒井シヅエさん、10月20日に重松カトメさん、10月21日に南長さんが100歳の誕生日を迎えられました。



酒井シヅエさん（唐池）
和裁・洋裁、編み物が得意で、子どもの洋服などを作っていました。子どもの誕生日には巻寿司などを作ることもあり、「若い頃は、子どもの成長が楽しみでした。長寿の秘訣は、野菜中心の食事です」と話していました。



南長さん（桜山町1丁目）
大島紬の工場で13歳から働いていました。「父を早く亡くし、苦労しました。周りの人に助けられた恩は、今でも忘れていません。」と話していました。長寿の秘訣は、「毎朝体操をし、自分のことは自分ですること」だそうです。



重松カトメさん（大島）
小学生の頃は足が速く、リレーの選手でした。編み物が得意で、一晩でセーターを編んだことも。家族は、「朝から晩まで仕事をしていた働き者の母」と話していました。働くことと何でも食べることが長寿の秘訣ということです。